

支部通信員・発

決意を新たに 8月パイプライン情勢にたちむかう

日刊 動労千葉

83. 6. 8

No. 1359

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

成田支部で総決起集会（5/31）

※※※※※

支部総決起集会は、五月三十一日十七時より講習室において、本部関川委員長、山口副委員長、吉岡組織部長、来賓として中江、北原市議を招き、組合員七〇数名が集結するなか高木副支部長の司会で開催された。

ジェット終了後の

諸反動に断固たちむかう

——日暮支部長の決意——

日暮支部長は、「国鉄をとりまく情勢は非常に厳しい。そうした中で八三政治決戦、とりわけ中江・北原勝利がなによりも当局、権力、動労『本部』に与えた打撃は大きい。われわれは、今次の総決起、総行動に発揮された底力をもつて、予想されるジェット終了後の諸反動に断固たちむかう。より一層の団結をうち固めよう」とあいさつした。

関川委員長、中江顧問があいさつと決意

続いて関川委員長より、船橋・成田と選挙行動に決起された組合員のみなさんへの感謝の意が述べられるとともに、「『6・12』公判で、千葉地裁は、三人に対し不当にも罰金刑を下した。動労革マルによる警察権力の手をかりた動労千葉組織破壊攻撃は、いまや全国の闘う労働者の弾劾の的となつている。われわれは、完全無罪へむけ控訴して闘うとともに、動労革マルを絶対に許さない」との力強い決意とあいさつがされた。

中江顧問より、「今次選挙は、革マルによる妨害、中傷やイヤガラセをはねかえして勝利した。特に動労『本部』は、推薦人の一人である田中寿美子社会党本部副委員長に対し、『中江の推薦を取り消せ』との横やりを入れた。反核・護憲、平和都市宣言実現に向け闘うとともに六月参院選でも勝利しよう。国鉄労働者への厳しい合理化、し

めつけをはねかえし、未来をきりひらくために、職場と地域を結んで闘っていききたい」とのあいさつがなされた。

二期阻止。労農連帯を一層強めよう

——北原氏がお礼と決意——

続いて一一〇六票とこれまでの最高得票で三選を果たした北原氏は、「三選を闘うにあたって、動労千葉推薦は大きな励みとなった。革マル派や脱落派、そしてなによりも政府・公団に与えた打撃は計り知れない。敷地内農民の不屈の闘いにある敵は、公団総裁を入れかえ、八月パイプライン供用開始を突破口にしようとしている。成田青年会議所を使って『二期着工の早期実施をよびかける署名』行動などを開始している。成田市議選に勝利した力をもつて、労農連帯の絆をがっちり握りしめ、ともに二期阻止にむけ頑張ろう」と決意表明された。

決意も新たに、

八月パイプライン情勢をむかえうつ

最後に、本部山口副委員長から国鉄をとりまく情勢と、当面する合理化問題について詳細な報告がなされ、これらの諸反動攻勢に対し六月六日以降、決意を新たに闘い抜くことと、全組合員のさらなる協力と団結が要請された。

集会は、大須賀書記長から総決起集会の総括と、当面する諸行動の提起を受け、成功裏のうちに終了した。



子どもたちをだいじにしない国に未来はない。

日本社会党 参議院千葉地方区

いとひさ八重子

※地方区は従来通り、候補者個人名を記入して投票します。

略歴

現 在
九三〇年（昭七）三月、茂原市に生れる。
九三六年（昭一）山武郡片貝町、香取郡多古町、勝浦市などで子供時代を過ごす。
九五〇年（昭二五）県立大原高校卒業。
九五四年（昭二九）千葉大学教育学部卒業、以後二十七年間教師として活動
この間千教組、県労連等の婦人部役員。
日本社会党千葉本部政策副委員長。
千葉県母と女教師の会代表幹事。
千葉県退職婦人教職員連絡協議会常任理事。

比例代表区(旧全国区)は、

社会党

と記入して下さい

（今回より、記入様式が異なります。比例代表区のみ政党名で投票。候補者名の記入は、無効とされます。）